

今回の号外記事テーマ

～今回の比較対象機種は以下3機種～

ピーマックス 本田が解説する 空前注目機種スペック比較分析!

納品日	機種名	販売台数
6月3日	CR弾球黙示録カイジ HIGH&LOW	約30000台
6月17日	CR北斗の拳7 百裂乱舞 F U A	約20000台
7月8日	CRぱちんこウルトラセブン2	約??台



ピーマックス 専務取締役

本田 正豪

元大手メーカーのパチンコ開発者。ゲージ設計・スペック設計・遊技機企画に携わり、数多くの機種を世に送り出す。現在はメーカー様、ホール様への支援業務(アドバイス・講師・技術指導等)を中心に活動中。

～分析数値データ表～(数値は全て弊社調べ)

機種名	単発率 (%)	単発時のTY (個)	MAXTY (個)	MAXTY比率 (%) 特図1	MAXTY比率 (%) 特図2	単発時以外のTY (個)	平均TY (個)	単発時以外のTY / 平均TY (%)	RUSHによる獲得球数 (個)	RUSH依存度 (%)
CR弾球黙示録カイジ HIGH&LOW	50.0	1325	1767	45	50	6720	4023	167.0	1786	44.4
CR北斗の拳7 百裂乱舞 F U A	29.9	399	1064	50	2	5423	3920	138.3	2269	57.9
CRぱちんこウルトラセブン2	25.6	546	2184	0	50	5477	4216	129.9	808	19.2

～分析数値データ表の各項目説明～

- ① 単発率(%)=初当たり後確変・RUSH・時短引き戻し等の次回当たりを引けない場合の比率です。
- ② 単発時のTY(個)=上①であった場合の平均獲得球数です。
- ③ MAXTY(個)=その機種の当たりのうち最も大きなラウンドでの獲得球数です。
- ④ MAXTY比率(%)特図1=上③の当たりが特図1で何%の比率であるかという数値です。
- ⑤ MAXTY比率(%)特図2=上③の当たりが特図2で何%の比率であるかという数値です。
- ⑥ 単発時以外のTY(個)=上①以外であった場合の平均獲得球数です。
- ⑦ 平均TY(個)=初当たり1回につき平均何個の玉を得られるかという数値です。
- ⑧ 単発時以外のTY/平均TY(%)=上①以外の場合と平均のTYの乖離を示しており、この数値が大きい機種は強い差玉性能が有る波の荒い機種と言えます。
- ⑨ RUSHによる獲得球数(個)=初当たり1回につき平均何個のRUSHによる玉を得られるかという数値です。
- ⑩ RUSH依存度(%)=平均TYの中でRUSH時に獲得される球数の割合です。特賞による出玉とRUSHによる出玉の比率の違いはゲーム性の違いを表します。

～分析数値データ項目から推測される各機種の特徴総括～

『弾球黙示録カイジHIGH&LOW』はRUSH機能の瞬発性は強いが、表の【単発率】の高さ=継続率の低さがネックとなり、MYとしてはおそらくそれほど大きなものにならない可能性があります。初当たりは1/600と割り切って中規模のTYを望むある意味安定志向の機械を望むファンもしくは短時間勝負のファン層には受けそうです。

『北斗の拳7百裂乱舞』は表の【MAXTY】の低さは、RUSHが続くことを前提に作られた機械と言えそうです。ただこれまでの経緯で特賞出玉を抑えRUSHのみに特化した機械はあまり良い結果を得られていないので、いかに北斗シリーズとはいえこの部分はいささかの懸念材料にはなりそうです。

『ぱちんこウルトラセブン2』はRUSH機能が低めとはいえ、単発率の低さ・継続率の高さ・MAXTYの大きさは3機種の中で、最もバランスの良い機械と言えそうです。又平均TYは3機種の中で最も高いもののそれほどの乖離はなく、京楽前作までの甘くてスタートに還元できないという問題はかなり改善されたと思えます。

※まとめ

それぞれ異なる特性を持ち、それに対する嗜好を持ったお客さんが機種を選択する現象がみられそうで、競合といったイメージではないようです。単発率・継続率・MAXTYのボリューム・RUSH機能の能力と言った要素を総合的に判断して、ファン満足度が最も高いのはウルトラセブン2と言えそうです。